

特集2：環境対応車のラインアップをさらに拡充

三菱自動車は、持続可能な社会を実現するために人と地球の共生を目指し、走る歓びと地球環境への配慮を両立させた独自のクルマづくりに取り組んでおり、企業コミュニケーションワード『Drive@earth(ドライブ・アット・アース)』を具現化するため当社独自の先進技術『@earth TECHNOLOGY』を搭載した商品の開発を進めています。その中で、環境への貢献として、当社は低燃費ガソリンエンジン車、クリーンディーゼルエンジン搭載車、電気自動車、プラグインハイブリッドEV車という4つの環境対応車を提供するオンリーワン企業です。ラインナップの多様性を生かし、世界各地域で市場のニーズに応じた最適なモデルを選択して展開します。

▶環境技術を磨き実現したガソリン車トップレベルの低燃費

欧州をはじめCO₂規制強化を背景に環境対応車への需要が高まる中、2012年に生産拠点のタイで販売を開始した『ミラージュ』は、既にアセアン諸国、日本、欧州、豪州とグローバルに展開しており、2013年秋には北米への投入も予定しています。低燃費化技術として徹底した軽量化や空力性能の追求に加え、新開発の1.0リッター 3気筒MIVECエンジンやアイドリングストップ機能を搭載し、日本ではガソリンエンジン登録車トップレベルの27.2km/L(JC08モード燃料消費率)、欧州ではCO₂排出量92g/km(5MT仕様)を実現しています。

▶環境性能と動力性能を両立させるクリーンディーゼルエンジン

三菱自動車は、クリーンディーゼルエンジン搭載モデルとして、2010年に発売した『パジェロ』を皮切りに、2012年には欧州で『アウトランダー』を、さらに2013年には日本市場に『デリカD:5』を投入しました。

『デリカD:5』は、大気汚染の原因となるNO_x(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)の排出を大幅に低減して、平成21年排出ガス規制(ポスト新長期規制)に適合する優れた環境性能を備えています。また、環境性能と力強い動力性能の両立を図り、JC08モード燃料消費率は13.6km/L、最大トルクは360N・m(36.7kg・m)/1,500～2,750rpmとなっています。

▶電気自動車の先駆者として次々と新モデルを投入

2009年に当社が究極の環境対応車として、世界に先駆けて量産を開始した新世代電気自動車『i-MiEV』は、これまでに日本や欧州、北米、アジアなど世界各地に展開しています。また、2011年には電気自動車の第2弾として、軽商用電気自動車『MINICAB-MiEV VAN』を発売しました。さらに2013年には第3弾として、軽トラックの電気自動車『MINICAB-MiEV TRUCK』を発売。“ゼロ・エミッション車”としての高い環境性能や、力強く滑らかに走る動力性能、また電気自動車ならではの静粛性、快適性、経済性を実現しています。



『デリカD:5』



『ミラージュ』



2.2L コモンレール式DI-D
クリーンディーゼルエンジン



『MINICAB-MiEV
VAN』



プラグインハイブリッド車『アウトランダー PHEV』

▶自分で発電する電気自動車 新型『アウトランダー PHEV』

2013年1月、三菱自動車は電気自動車派生型の「プラグインハイブリッドEVシステム」を搭載した新型『アウトランダー PHEV』を発売しました。『アウトランダー PHEV』は、『i-MiEV』で培った電気自動車技術、『ランサーエボリューション』で鍛えた4WD技術、『パジェロ』で築いたSUVのノウハウを結集した、画期的な“自分で発電する電気自動車”であり、SUVタイプとして世界初のプラグインハイブリッド車です。電気自動車の優れた環境性能や静粛性、4WDによる走行安定性や意のままの走り、SUVならではの使い勝手の良さを融合しています。

なお、『アウトランダー PHEV』の大きな特徴としては、低燃費かつ快適な走行を実現するため、走行状況やバッテリー残量に応じて、3つの走行モードから最適なモードを自動で選択します。

<3つの走行モード>

●EV走行モード

バッテリーに蓄えた電力のみを使用し、モーターで走行します。走行中のガソリン消費やCO₂排出はゼロ。静かでクリーンかつモーター特有の力強い走行が楽しめます。

●シリーズ走行モード

エンジンを発電専用として動かし、その電力も使ってモーターで走行します。バッテリーの電力量が低下した場合や、急加速や登坂など更に力強い走りが必要な場合に作動します。

●パラレル走行モード

高速走行時は効率の良いエンジンの駆動力を主体に走行し、加速・登坂などでさらに力強い走りが必要な場合にはモーターの駆動力がアシストします。

基本性能

充電電力使用時走行距離	60.2km
航続可能距離	897km
プラグインハイブリッド燃料消費率 (複合燃料消費率※)	67.0km/L

※複合燃料消費率：プラグイン走行（外部充電による電力を用いた走行）時の燃料消費率「プラグイン燃料消費率」と、ハイブリッド走行時の燃料消費率「ハイブリッド燃料消費率」に、国土交通省が定めたプラグイン走行の貢献割合（ユーティリティファクター）をかけ、複合した代表燃費値